７月のほけんだより

令和５年7月1日発行
慶光保育園

日に日に日ざしが強くなり、心弾む夏がやってきました。
天気がよければ、毎日プール！の子どもち。元気そうに見えても、体は意外と疲れています。おうちではゆったりと過ごせるようにご配慮ください。

プールＯＫ？チェックリスト

元気に楽しくあそべるよう、毎朝の体調チェック・プールカードの記入をお願いします。

□熱は何度ですか？
37.5℃以上が、プールに入れない目安です。毎朝の検温を忘れずにお願いします。

□食欲はありますか？

□前日、よく眠れましたか？

□目やにや充血はありませんか？
朝だけの目やには心配ないことが多いのですが、昼間も目やにや充血が見られるようなら、結膜炎のおそれもあります。

□せき・鼻水は出ていませんか？
食欲がない、発熱などの全身症状がなければ、基本的には心配ありません。

□皮膚に異常はありませんか？
傷やただれがあって乾燥していない場合は、プールは避けたほうがいいでしょう。

気をつけよう！　夏の感染症

楽しい夏ですが、体力の消耗の激しい時期でもあります。また、プールの水を媒介していろいろな病気が感染しやすく、あっという間に広まることも多いのです。夏、どんな感染症がはやるのかを知ったうえで十分に気をつけていきましょう。

咽頭結膜熱（プール熱）

原因；アデノウイルスによる飛沫感染。目やにや便からうつることも。プールの水を介して感染することがあるので、「プール熱」と呼ばれる。

症状；39℃以上の発熱とのどの痛みがあり、目のかゆみ、痛み、充血、涙など、結膜炎のような症状が出るのが特徴。

対応；感染したら、症状がなくなってから２日経過するまでは登園停止。自宅で安静に過ごすように。

流行性角結膜炎

原因；目とまぶたの裏側を覆っている結膜にアデノウイルスが感染して起きる炎症。ウイルス性の結膜炎の中でもっとも感染力が強く、プールの水だけでなく、タオルの共有や手指の接触によっても感染する。最近は季節に関係なく発症する傾向がある。

症状；まぶたのはれや異物感、痛み、充血。目やにで目が開けられなくなったり、発熱や下痢を伴うことも。

対応；完治まで２～３週間かかり、発病から２週間は登園停止。感染予防のため、こまめに手を洗い、タオルの共有は避ける。

とびひ

原因；虫刺されや湿しんをかきむしったあとに黄色ブドウ球菌が感染して起こる。症状がどんどん広がっていくことからこの名称で呼ばれる。皮膚が弱いとかかりやすい。

症状；皮膚に水ぶくれができ、破けて赤くむけたような状態になる。発熱することも。

対応；主な治療法は抗生物質の使用だが、衣服を清潔に保つこともたいせつ。患部をガーゼなどで覆って登園するように。また、患部がじくじくしているときは症状が悪化しやすいので、プールは入れません。シャワーを浴びる程度ならＯＫ。